

横浜市立森の台小学校 令和元年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
「自分大好き 友だち大好き 共に学ぶ子 実践する子」	〈コミュニケーション能力〉

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○子ども一人ひとりに向き合い、「ひと」や「まち」との関わりを大切に、活力と魅力あふれる学校づくりを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士の関わり合いと認め合いを育み、新学習指導要領に沿った学習活動を展開します。 ・特別支援教育の視点を大切に、問題解決学習型の授業づくりに取組み、進んで問題を解決していく子供を育てます。 ・家庭・地域・関係機関との連携をより一層強め、子どもの心に自尊感情・自己有用感を高めるように取り組んでいきます。 ・楽しみながら学び、健康・体力の向上に寄与する学習の充実を図ります。 ・全教職員が互いに学びあい、啓発し合って自らの力を磨いていく学校づくりを進めます。

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

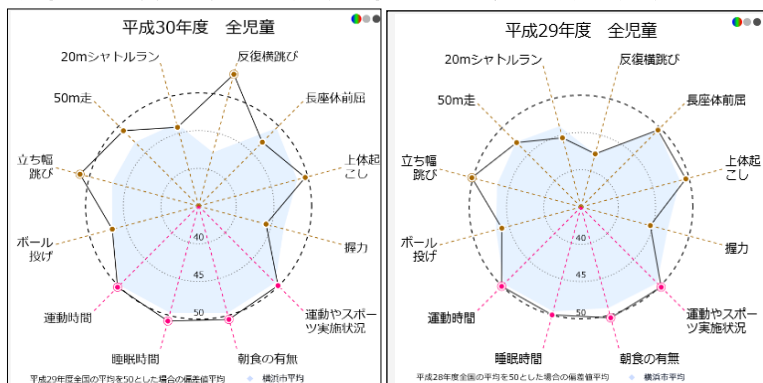
重点取組分野	具体的取組
健やかな体	<p>① 体力向上のために、1校1実践の長縄跳び、ラジオ体操の計画的な実践を継続する。</p> <p>② 食や体に関する関心を高めるために、学校保健委員会や給食週間で、保健や食育の指導に取り組む。全校の取り組みが日常化するように努める。</p>
担当	<p>児童活動委員会・体育部</p> <p>保健安全給食委員会</p>

2 体育・健康に関する実態把握

(1) 体育健康に関する実態

学校生活では規範意識の醸成や生活環境の改善に努めており、「早ね、早起き、朝ごはん」運動を続けてきたことで、睡眠時間の確保や朝食をとる習慣が身に付き、運動時間も市の平均程度の時間が確保されている。1校1実践の長縄跳びの取組の様子をみると、楽しみにしながらしっかり取り組んでいる子どもがほとんどである。また、保健室の利用は以前より減少しており、養護教諭や児童支援専任教諭のもと学校全体で共通理解を図りながら、児童の心のケアや保護者との相談、関係機関との協力や連携に尽力している。

(2) 体力の概要と要因の分析（体力・運動能力調査分析チャートを活用）



平成30年度の結果では、前年度と同様にほとんどの項目で市平均と同じ傾向の記録が見られた。ただし、反復横跳びのデータは入力ミスによると思われる。依然20mシャトルラン(持久力)、反復横跳び(敏捷性)、握力は、全国を下回っている。体育授業以外の運動やスポーツを実施している児童も平均的で運動時間も確保されているので、休み時間等の遊び方やよくする運動の種目の影響が考えられる。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科での取組》

- 体・運動の特性に触れながら、基本的な動きや技を身につけること。
- 学習に対する見通しや自分に合ったためあてをもち、意欲をもって段階的に取り組むこと。
- 友だちと積極的に話し合ったり、関わったりしながら、自分や友だちのよさに気づき、それを自分の学習に取り入れ、「努力すればできる」という自己肯定感を感じることを。

《他教科での取組》

- 日常の給食指導を通して、栄養と健康の関係等への理解を深める。
- 家庭科学習では、食育との関連を図る。
- 生活科、理科では、保健の授業と関連付け、生命の尊さを指導する。

特別活動・総合的な学習の時間

- 運動会
- 体育大会・水泳大会・球技大会
- ふれあい活動の異学年交流
- 健康診断と指導
- スポーツテスト
- あいさつ運動
- 養護教諭による宿泊体験学習の保健指導
- 栄養士による卒業給食、宿泊体験学習の食事の指導

課外活動

- 学校保健委員会；各学級が実践的に取り組めるようにするために、生活習慣に関わるテーマを設定。
- 給食週間；健全な食生活を営む態度を育むため、給食時間を活用し、栄養など食に関する指導を行う。
- 家庭との連携；体育健康に関する結果などを個人面談・健康手帳などを活用して共有し、連携を図る。

令和 元年度 森の台小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 ○「長縄週間と長縄集会」 「ラジオ体操週間」

《ねらい》 継続して取り組む活動や記録に挑戦する活動を通して健やかな体を育てる。

《内容》 ○体育的行事を運動委員会（児童）が企画・運営し、内容と取組の充実を図り、運動の楽しさを味わわせ、体力の向上を図る。
○「長縄週間と長縄集会」を行うことで、学年・学級の記録向上への意欲や、休み時間など、児童が自主的に長縄運動に取り組むことができるようにする。
○体育の指導法について実技研修を行う。（メンターの取り組み）
○運動会でを行うラジオ体操を、夏季休業明けなど通年実施できるよう計画する。

- 指 標：
- ①記録表の活用による記録向上への意欲を高める。
 - ②行事後の振り返りをする中で「事前取組」「満足度」を捉える。
 - ②新体力テストの「反復横跳び」「シャトルラン」「立幅跳び」の記録の経年変化を分析する。